

第9回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

1 日時 令和8年6月25日(木) 10時00分から

2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室

3 出席委員 教 育 長 靄本 修一
委 員 楠 愛
委 員 秋山 伸宏
委 員 松田早央里
委 員 松田 敬

4 委員以外の出席者

教育次長	山本喜八郎		
こども家庭課	課 長 室橋 淳次		
	課長補佐 田村 公一	課長補佐 飛弾野 郁	
学校教育課	課 長 渡邊 興勝	参 事 石口 昇	
	課長補佐 仲谷 貴子		
	係 長 八木千佳誉	係 長 青木 正紀	
文化スポーツ課	課 長 川合三喜八		
	課長補佐 榊 正喜	課長補佐 宮田 直樹	
博物館	館 長 竹之内 耕		
書記	こども家庭課主事 内山 真彩		

5 報 告

報告第 21号 各課・機関所管事項について

6 協 議

協議第 1号 糸魚川市立学校教育環境整備計画(案)について

7 会議録署名委員の指名 2番 秋山委員

8 傍聴者 0人

教育長

令和8年第9回教育委員会定例会を開会する。
報告第21号各課・機関所管事項について、担当事務局の説明を求める。

こども家庭課	所管事項報告
学校教育課	所管事項報告
文化スポーツ課	所管事項報告
図書館	所管事項報告
博物館	所管事項報告
市民会館	所管事項報告

教育長
楠委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

ジビエ給食の提供について、なかなか大人でも食べることができないジビエを、子どもたちが食べられるというのはとてもいい機会だと感じている。食育や自然、野生動物に関する知識も体感しながら勉強できるいい取組のためこれからも続けてほしい。だが、ジビエはアレルギー反応が割と少ないものだと聞いているが、アレルギーは無いものではない。今まであまり食べたことのない食肉のため、気を付けながら続けてほしい。

教育長

今回で3回目の実施になり、マスコミ等に取り上げていただいて、糸魚川市の食育に絡んだジビエ給食ということで情報発信していただいている。今後の見通し等が分かれば教えていただきたい。

こども家庭課長補佐

ジビエ給食と紹介をしているが、ジオ給食の1つとして食育月間に合わせ実施をしているものである。今まではイノシシ肉を使用していたが、今年度もハンターの方のご協力があり、ある程度のシカ肉が確保できたため、シカ肉のハンバーガーということでパン食の日に合わせて実施したものである。引き続き地元の食材を使用し、大地の恵みをいただくことで命の大切さを感じながら、美味しく食してもらうことを目標としているため今後も続けていきたい。また、アレルギーに関しては、事前に児童生徒のアレルギーの状況について確認しているが配慮しながら取り組んでいく。

松田(早)委員

親子キッズキッチンについて、子ども一貫教育の1つとして、平成22年から続いているということで、私自身も子どもとこの間参加をしてきた。1つのテーブルに2人ほどスタッフがつき、火傷や手を切る等の怪我をしないようにと細かく優しく教えてくれていて、とても良い事業だなと感じている。数年前に怪我をしてしまうことがあったが、包丁や火を使う料理も経験していかなければいけないため、怪我が無いよう続けてほしい。また、保護者同士のつながりも大切で、保護者同士で会う機会があまり無くこのような事業を通して保護者同士でも交流できる場も必要なため、市内の園でこれからも実施をしてほしい。

性教育事業について、保育士会でも性教育の研修会があるということなので、園児でも性に興味があるときから教育することは良いことなので、ぜひ続けてほしい。

学校教育課係長	<p>また、教員の新人研修について、いくつか行われているのだが何時ごろ実施されているのかお聞きしたい。</p>
松田(早)委員	<p>今年度第1回目の新人研修は、15時から行った。日中は授業を担当している担任等がいるため、15時以降の開催にしている。第2回目は夏季休業中、第3回、4回目は平日のため同じく夕方に行う予定にしている。</p>
教育長	<p>先生方は日中授業で活躍されているが、このような研修も大切なため、皆さん参加しやすい時間帯に実施してもらえるのは、先生方も勤務しやすいのではないかと感じた。</p>
こども家庭課長補佐	<p>親子キッズキッチンと性教育事業について、直接参観された感想や保護者の視点からも、ぜひ継続してほしいとの強い要望があった。今後の見通し等も含め情報提供をいただきたい。</p>
松田(早)委員	<p>おしゃっていただいた、数年前の火傷の事故について、その際はガラスの鍋を使用しており、少し重く、落としてしまったら割れてしまう素材を使っていた。本当は、煮えている状態を見ていただきたくて、ガラスの鍋を使用していたのだが、安全に配慮し鍋は全て交換をした。また火傷等をしてしまった際の初期対応スタッフ研修を実施しており、安全面についても配慮させていただいている。その際火傷を負った子どもの保護者の方や、園からもまだ続けてほしいという声も受けており、実施後の保護者の方からの感想でも良いものをいただいているため、こちらも続けていきたい。</p> <p>また、性教育事業について、長年続けている事業ではあるが、生殖だけではなく、お互いのプライベートゾーンや距離の取り方から始め、人や命を大切にということをこれからも伝えていきたい。また、関わっていただいているのが、糸魚川総合病院の婦人科の先生や、市内で活躍されている助産師の方にも協力していただいている。性教育はこの1日だけでは成り立たないため、未来のパパママ応援事業というものをセットにして取り組んでおり、学校でも事前学習を行ってもらっているため、こちらについても継続していきたい。</p>
松田(敬)委員	<p>中学生になると異性との接し方に悩むこともあるだろうから、保育園の頃から性教育を学び、プロの先生や助産師さんからの説明があれば、中学生になっても受け入れやすくなるのではないかと感じた。</p>
学校教育課参事	<p>学級づくり研修会について、たくさんの方から参加いただいて、良い雰囲気であったことが伝わってきた。学級づくりという視点で、もう少し詳しく内容について教えていただきたい。また、年間を通して学級づくり研修会は、何回程度実施されるのかお聞きしたい。</p> <p>例年だと、全員で公開される授業を参観して、同じ体験を元に学級づくりに生かせる視点やポイントをみんなで共有し、講師の方に意味付けしていただくということが例年なされている。今回の場合</p>

松田(敬)委員

でも図工の授業内で、多様な見方や個性を認める部分を先生がピックアップしてくださり、それを共有するということが行われた。昨年度までは、年2回実施されていた学級づくり研修会だが、今年度から年1回の実施に変更させていただいた。

秋山委員

学級づくり研修会は、学級担任をしている教師が中心になるが、非常に学校のほうでも求めている研修のため、今後も現場のニーズを踏まえながら、実践と基本的な構えや背景にある考え方等、つながりを意識できるような研修会を工夫して実施していただきたい。

学校教育課係長

非認知能力検査について、今ほどの説明にて各学校の課題を明確にできたというような話があった。新規事業のため、学校訪問の際にも校長先生にどのような課題があるかをお聞きしたいが、例示としてどのような内容なのか教えていただきたい。

楠委員

集団に関わる部分と個人に関わる部分とが、視覚的にグラフ化されているものになる。その学級に応じて、集団としてまとまりのあるクラスなのか、個人一人ひとり頑張っているクラスなのか、強み弱みを分析している。まだデータをいただいていないのだが、この後まとまったものが7月下旬から8月上旬あたりに市教委へ届く予定だ。各学校では学校全体、学級、個人のものがテストを実施した翌週にはダウンロードできるようになるため、そのデータを見ながら学級づくりに生かしてもらう。

学校教育課係長

漢字検定について、今回は市内3会場で行われるということだが、去年と変わりなく行われるのか、受験者数の変化はあるのかお聞きしたい。

楠委員

今週末行われる漢字検定は、糸魚川市民会館の会議室で一斉に行われる予定である。参加者については、補助金が本年度から無くなったため、受験人数も若干少なくなっている。

学校教育課係長

前年度に娘も受験をしたのだが、近くの公民館で受験することができた。身近に受験する場所があると、また次も頑張ろうと学習する動機付けになるため、補助金は無くなってしまったが受験をする機会が減らないようにしてほしい。

秋山委員

漢字検定だが、オンラインにて個人宅で受験できるようになってきている。自宅で受験ができる場所は、子どもたちにとって自分のキャリアを伸ばせるきっかけになるため、周知をしていきたい。

こども家庭課長

資料にはないが、学校の火事がニュースになっている。長年教員をしていたが、なかなか避難はしごを実際に動かして避難をすることがなかったため、市内の避難はしごの設置状況等をお聞きしたい。

秋山委員

消防設備点検については定期的に実施をしており、その中で避難はしご等の点検もさせていただいている。ただ、付けてある避難はしごを全て動かして点検していたか承知はしていない。

避難はしごが設置されている学校は具体的にどこがあるか。

学校教育課長補佐	改めて避難はしごが設置してある学校を調べ、情報をお伝えさせていただく。
教育長	ほかにご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり)
教育長	ご質疑なしと認め、協議に入る。
学校教育課係長	協議第1号糸魚川市立学校環境整備計画(案)について、担当事務局の説明を求める。
教育長	(資料に基づき説明) 今ほどの説明について、ご質疑はないか。
秋山委員	重点項目につながる教育活動という視点で意見をいただきたい。どの観点からでも、疑問に思うこと、もう1度確認したいこと、それぞれ委員さんの思いもあるはずのため、忌憚のないご意見をいただきたい。
学校教育課長補佐	地域とともに歩む開かれた学校づくりについて、人口減少に伴う児童生徒の減少は否めないことは説明会の中で、ご理解いただいていると考えているが、校区が広がることのメリットとして、保護者や地域はどのように捉えていくのか。例えば青海小学校の例だと、市振小学校と合併して、改めて市振小学校と関わりをもっていこうと、総合的な学習を行うのだが、繰り返し行くことができないため、地域の方からも実際に寂しいというような声があった。教育委員会として、より広がった校区の中での活動に寄与するような方向性の予算付けをする等のお考え等があればお聞きしたい。
秋山委員	校区が広がるメリットということで、青海小学校と市振小学校が統合になったときに、青海小学校の子どもたちは統合によって今まで知らなかった市振地域のことを、少なかつたかもしれないが学ぶ機会を持つことができた。今度再編することにより、他の校区の中でも同じようなことが広がっていく。当然費用も時間もかかるが、子どもたちにとっては他の地域を知るひとつのきっかけになる。子どもたちが一方的に地域へ出ていくばかりではなく、地域の方も一緒に学校の活動に関わっていただくということをこちらのほうで想定している。財政的な部分は、決定権はこちらに無いのだが、気持ち的に圧縮できる部分は、子どもたちの教育振興や教育環境の整備に充てて、必要な予算については確保をしていきたい。
楠委員	教育課程を作るというのが校長の采配になるため、校長に周知をしていただきたい。新しいものを作り出すということは、学校的に苦しいところもあるため、その点を踏まえて市からの助言をしていただければと考えている。
	小学校と中学校が一体型になる学校と、分離型になる学校とが出てくるのではないかと考えているが、先生たちがつなぐ授業づくりや、中学校の先生が教える一歩先の学び、異学年で育ちあう交流の

学校教育課長補佐

部分が、一体型であれば望ましい活動ができていくと思われるが、分離型の学校であると、物理的な距離が生まれてしまう。そのような学校同士で交流をするということになると、先生方の負担が大きくなるのではないかと心配になった。活動が、一体型の学校で想定されすぎてないかと思を受けた。

糸魚川市が進める小中一貫教育学校の教育活動の思いとしては、きちんと教育項目を立てた中で、小学校と中学校のギャップを埋めたり、スムーズな移行を促すためには、楠委員がおっしゃった項目は欠かせない。一体型の学校と分離型の学校とでは、当然やり方の工夫が必要だと考えている。資料にあるものは、市全体としての目指す姿の教育活動と捉えているため、計画が策定された後、各中学校校区単位で、これを実際どのように取り組んでいくことができるのか工夫して考えていただくようになる。当然ある程度制約ができるということは承知しているが、その中でもなるべく子どもたちにこのような機会を提供できるよう、また各中学校校区の中できちんと話をしていきたい。

松田(早)委員

先生方の負担も気にしており、地域とともに歩む学校づくりの項目があるため、要望等も保護者だけでなく地域の人も参加し、うまく取り組んでいただきたい。今も十分、地域の方も入っているのだが、学校の先生が上手く保護者とやっていけるよう、地域の方も入って対応していけたらと感じている。

松田(敬)委員

校区が広範になってくるため、その学校と地域のつながりが本当に重要になると感じた。学校でも工夫をしながらやっていかなければいけないが、先ほども話が出たように、学校の職員の負担もかなり大きなものになるため、難しいことだが上手く兼ね合いを図りながら、小中一貫教育活動を進めていかなければいけない。子どもたちにとって、9年間を続けて学べ、糸魚川市が進めている、0歳から18歳までの人づくりということに直結する計画のため、学校でも可能な限り精一杯進めていただきたい。また、私たちも市民の一人として、学校を支え、応援していきたい。

楠委員

先程中学校ごとの話し合いがこれから先行われていくという話があった。校区が広がるメリットともつながるが、地域がどのような学校がいいのか、どのような教育をしてほしいのかということ、伝えられるいいチャンスだと捉えて、一緒になって学校を作ることができる機会だと感じている。教育委員会としては、保護者だけではなく市民みんなで学校を作っていくというような意識を高められるようなことを、働きかけていく必要があると考えている。

教育長

保護者だけでなくという視点、地域の方々から理解していただいて参画していただくということがとても重要だ。意識をどう高めていくかということが大切だという話があった。その情報発信や説明

学校教育課長補佐

について、保護者や地域のリーダーには話し合いの機会もあるため話が入ってきやすいのだが、一番応援をしていただかなければいけない地域への意識の啓発についてはどのように工夫していけばいいのか、事務局ではどのように考えているのか教えていただきたい。

市民の方から意見をお聞きする機会とすると、パブリックコメントがある。この計画案についてのご意見ということに限られていくのかもしれないが、そこでも学校に対する思いや、地域と学校に関する思いは、意見としてお聞きしたいと考えている。計画策定後については、ホームページや広報等で周知をするほかに、中学校区単位での説明会を計画している。具体的に地域の方とお話をするときに、どのような方が集まれば良いのか、検討委員会の委員に投げかけ、どのような形の検討が委員お住いの中学校区にふさわしいのかというところも検討していただこうと考えている。

教育長

限られた時間だったが、事務局の説明を受けて重点項目と教育活動のつながりという視点として、今後の見通し等も含めて意見交換できたということはとても意義があった。この時間だけで完結するものではないため、これからまた少しずつ具体化に向けて、プランが現実的なものになっていく大きな過渡期になる。教育委員の皆さんにも適宜情報共有をさせていただくため、引き続き関心を持って応援していただきたい。

教育次長

次回教育委員会定例会開催日
7月23日(木) 10時から

教育長

その他 特になし

以上で第9回教育委員会定例会を閉会する。

11:12 終了